

今、地図に伝いたいこと

ありがとう

「お前、何をしてるんだ。また地図を見てるのか？高校受験まで後二週間しかないのに。もうやめなさい、それ。」

「分かった。分かった。後で勉強しますよ。」

...(2秒)...

みなさんは、時間がある時に何をしていますか？

(1s) 音楽を聴いたり、ツイッターをみたりする人が多いかもしれません。しかし、僕の場合は、地図を見えています。周りと比べれば、少し変わっているかもしれませんね。

(2s)

六年生の時、偶然、家の本棚にある地図帳が目にとまりました。なぜか分かりませんが、一目ぼれしました。いまでは、もう 40 冊、50 冊ぐらいを持っています。そして、ずっと続き、もう 11 年間。

地図を見ているときに、「この道はどこに行くのか」「駅に行くため、どんな道が使えるのか」と考えています。私にとって、それは楽しい時間だと思います。(2s) 11 年間、地図を見てきた僕の方向感覚はほかの人よりずっと強く、迷子の心配もないと思います。また、友人にも、旅行に行ったとき、よく「えいちゃんがいるから、安心できるね。」と褒められます。でも、これは自分自身もともと持っていた力ではなく、地図がくれたものです。

ただ、わたしにとって、地図はこれだけの意味ではありません。悲しい時に、地図は何も話せないですが、親友のように、自分のそばにいました。誰でも仕事や学習などに悩むことがあります。そんな時、もちろん、友人との相談は欠かせませんが、1 人になりたい場合は、わたしは、地図を見えています。時間を忘れて地図を見ている間に、私の心は癒されて、悩みは解決します。地図は、道の迷子を助けてくれるだけでなく、頭の迷子も助けてくれました。

毎日、私たちは周りから、たくさんのものをもらっています。でも、それは当たり前のことではありません。友人や先生からもらった助けも、地図からもらった力もそうです。そういったものを大切にし、そして感謝の気持ちを持って、これからの道を歩いていくべきではないでしょうか。だからこそ、わたしにたくさんの力をくれた地図に伝えたいです。私に出会ってくれて、ありがとうと。

ご清聴ありがとうございました。